

花咲き山

令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第24号
2020.9.11
文責：小松正義

米沢班別研修 を終えて

心配された天候にも恵まれ（帰りはびしょ濡れの人もいたと思いますが）、米沢班別研修を終えることができました。1日の研修を終え、来年の修学旅行に活かせる収穫がたくさんありました。お子さんからどんな話を聞けたでしょうか。

☆時間

集団生活をする上で大切になるのが、時間を守るということです。その時間をどの班も見事に守ってくれました。朝の集合、訪問先への約束の時間、液への集合、集団行動を行う中で、実はなかなかできないことです。来年の修学旅行、東京でも大丈夫かな。

☆あいさつ

校外での学習で大切にしたいのは、あいさつです。コミュニケーションづくりの基本になるからです。私は、米沢中央高校に訪問した班といっしょに行動しましたが、路上でも道行く人に「おはようございます」と爽やかにあいさつしていたり、校舎内で高校の先生に会ったときも、しっかりあいさつしていたりととてもほほえましい光景を見せていました。



写真は、高校生といっしょに受けた授業風景。高校生は気さくに話しかけてくれました。

☆対応力

食事をするはずだった店が休業、満員など予定とは違う対応を迫られた班が多くありました。体験先に行ってから食事をとった班、食事する場所を変更して対応した班など自分たちで協力しながら、対応する姿を多く見せてくれました。頼もしく感じています。

西米沢駅をゴールにする班がありました。時間を見ながら、みんなと同じ南米沢駅に変更。変更したという連絡がしっかりありました。もし自分たちだけの判断で連絡がなければ、私は西米沢駅に行っていました。変更を連絡をするべきか、しなくても良いかということを考えられたことも素晴らしいことでした。



メモを取りながら、学習意欲が感じられます。

☆できなかったこと

他の班と一緒にになると、班がばらばらになってしまった。体験先でうるさくなった。廻し飲み、廻し食いがあった。服装で注意を受ける人がいた。ことなどが生徒の反省から出てきました。これからの行事や日常生活に活かしてほしい反省です。

うるさくなった、服装で注意を受けたという反省は、その人だけの問題ではなくなります。「飯豊中の生徒は・・・。」となることです。集団生活の中では、一人一人が集団の顔になるということを意識させたいものです。

1500円以内を守れたことは良かったのですが、所持金としてはオーバーした人がいたようです。予備にと考える親心もあると思いますが、しっかり守っている人のことを考えれば、やはり守って欲しいことの1つです。お家の方から、「何かあった時のために。」と持たせるのは修学旅行の時も遠慮したいものです。

☆おまけ

私たち教員も、子ども達と同じルールで1日を過ごしました。私自身の歩数は16000歩を超えていました。子ども達は、私の歩数以上に歩き回ったと思います。車でしか見ない町並みも歩くと新たな発見があり楽しいものでした。中学生はなかなか時間が取れませんが、ぜひ親子でいろいろな町並みを歩いてみてはいかがでしょうか。おすすめです。

右の写真ジェラートを食べる担任団です。昼食を食べた直後の映像です。デザートは別腹なのでね。1500円以内はしっかり守っていますから、ご安心ください。

